

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2017年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定によって行う。

2. 競技者の招集について

- (1) 競技者招集場所 本大会は、全て競技開始場所へ現地集合とする。
- (2) 招集時刻は、その競技開始時刻を基準とし、以下のように定める。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始15分前	競技開始10分前
フィールド競技	競技開始30分前	競技開始20分前

(3) 招集の手順

- ① 競技者は招集開始時刻までに招集所に集合し点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピンの長さ（走高跳は12mm以下、その他は9mm以下）・衣類および競技場内への持ち込み物品等の点検を受ける。
- ② 2種目に出場し、競技時間や招集時間がかさなっている場合は、本人があらかじめ、出発係（トラック）とフィールド審判員に、競技が重なっている旨を申し出ること。
- ③ 招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものととして処理する。また、棄権する者は、本人または同チームの選手が、出発係（トラック）・フィールド審判員にその旨を申し出ること。

3. 競技運営について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号で示す。
- (2) トラック競技の計時は、写真判定（1/100秒）とし、同記録の場合は、より細かく優劣を判定して順位を決定する。選手権では、タイムにより次のラウンドへの出場者を決める場合、同記録者がでた場合は抽選とする。アナウンスにより同記録者を招集するので、アナウンス後5分以内に集まること。
- (3) トラック競技の決勝進出条件は、プログラム各種目スタートリスト右上に記載の通りとする。
- (4) リレー競技のマーカ―は1カ所とし、出場チームにて用意すること。
- (5) リレーチームの編成メンバーは、予選・決勝ともに、リレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場できる。ただし、少なくとも2人はリレーに申し込んでいる競技者であること（競技規則170条10）。
- (6) リレーチームの編成（オーダー用紙提出）は、予選・決勝ともに招集完了時刻1時間前までに記録室に提出する（競技規則170条11）。
- (7) 短距離走では、競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (8) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。
- (9) 助走路が使われるフィールド競技のマーカ―は、2個まで置くことができる。このようなマーカ―が準備されていない場合は、粘着テープを使用してもよい（競技規則180条3a）。
- (10) サークルから行うフィールド競技では、マーカ―を1個だけ使用することができる（競技規則180条3b）。
- (11) スタートについては、「イングリッシュコマンド」とし、1回目に不正スタートした者を失格とする。小学生については、日本語で指示を行い、2回目に不正スタートをした者を失格とする。
- (12) トラック種目でゴールした選手がスタート地点へ戻る際は、メインスタンド下雨天練習場、もしくは芝生スタンド側を通り戻ること。本部席前・本部席後ろ通路の通行は禁止します。

4. ナンバーカードについて

- (1) 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のナンバーカードをつけなければならない。跳躍競技者は、背または胸につけるだけでもよい。ナンバーカードはプログラムに記載のものと同じでなければならない（競技規則第143条7）。
- (2) 小学生のナンバーカードにおいては、明石市の大会・記録会で使用している学校・チーム名が書かれた物を使用する。どうしても用意ができない場合は、腰ナンバーカードのみでの出場を認める。その際は、招集時に出発係に申し出ること（本大会規定）。
- (3) トラック競技出場者は、腰ナンバーカードを100mスタート地点へ各自でとりに行く（本大会規定）。ゴール後、各自ではずし係に渡す。
- (4) トラック競技出場者は、腰ナンバーカードをランニングパンツ右側上部やや後方につける。

6. 走高跳におけるバーの上げ方について

①最後の一人になり優勝が決まるまで、以下のバーの上げ方をする。

②第1位を決定するためのバーの上げ下げは、2cmとする（競技規則第181条9d）。

	練習	競 技
男子	1 m 2 5	1 m 3 0 ~ 1 m 7 0 まで5 cmずつ 以降3 cmずつ
女子	1 m 1 5	1 m 2 0 ~ 1 m 5 0 まで5 cmずつ 以降3 cmずつ

5. フィールド種目における計測ラインについて

選手権フィールド種目では、次の記録に達しない場合は計測しない。

種目	性別	計測ライン
走幅跳	男子	4 m 5 0
	女子	4 m 0 0
三段跳	男子	1 0 m 0 0
砲丸投	男子	8 m 0 0
	女子	5 m 0 0
円盤投	男子	2 0 m 0 0
	女子	設定しない

7. 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んではいならない。

8. 表彰について

選手権種目1位～3位の選手に表彰状を授与する。

9. 競技場使用について

(1) 競技の妨げにならないよう、安全に注意して、メイン競技場バックストレート付近で練習を行ってもよい。また、補助競技場を開放するので、できる限り利用する。

①ハードルの練習は主催者が用意した物を使用する。

②投てき練習は、補助競技場においてメディシンボールの使用のみとする。それ以外の場所（メイン競技場、メイン競技場入場門外広場付近、公園内）にて、物を投げる練習は一切行わないこと。

(2) 選手・競技役員・補助員以外は競技場内に立ち入ることはできない。応援はすべてスタンドで行うこと。

(3) 各団体においてマナー（観覧・応援態度、競技中の態度、交通機関の利用等）の指導を徹底すること。メインスタンドを利用する場合は、特にスタンドの使用を徹底しておくこと。

(4) 更衣室をベンチ代わりに使用しない。更衣を済ませたら、すぐに出ること。

(5) 貴重品の管理は各自で責任をもって行う。

(6) ゴミは、各自の責任において家庭まで持ち帰る（応援に来られた保護者の方も同じです）。

(7) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。それ以降の処置については、主催者は責任を負わない。

(8) 大会結果は、明石市陸上競技協会ホームページ（アスリートランキング）にて公開する。

(9) 雨天練習場のフェンス中央にある門の利用は、競技場関係者及び大会運営者のみとなっており、一般の方は利用できません。

◎写真（ビデオ）撮影についてのお願い

昨今、悪質な写真（ビデオ）の盗撮が横行しています。子どもや選手をこれらの被害から守るために、大会中撮影が許可されるのは以下の場合に限ります。

①大会運営本部より許可され、腕章（ゼッケン）をつけたカメラマン。

②大会出場学校の顧問・部員 ③当該選手の保護者

撮影をされている方に、上記に該当するか、確認をする場合があります。ご協力をお願いします。